

# 松山市総合計画との統合について

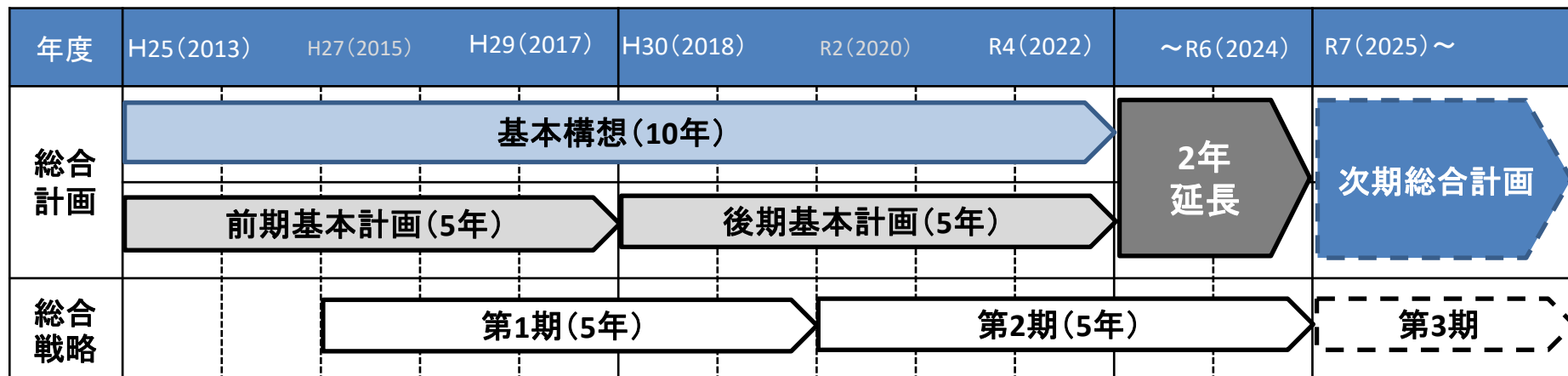
## 【松山市総合計画とは】

- ・本市の市政推進の基本となる最上位計画で、「基本構想」「基本計画」「実施計画」にて構成。  
 「基本構想」: 将来の都市像とまちづくりの理念を明らかにしたもの  
 「基本計画」: 基本構想を実現するための施策の内容を示したもの  
 「実施計画」: 基本計画で定めた施策を推進するための事業を示したもの
- ・現行の第6次松山市総合計画は、本来であれば令和4(2022)年度末に計画期間が終了するところ、  
 コロナ禍の影響で2年延長（延長後の計画期間：平成25(2013)年度から令和6(2024)年度まで）

～参考:松山市総合戦略とは～

- ・本市の人口減少対策の基本的計画となるもの。
- ・第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度まで。

## 【松山市総合計画と総合戦略の計画期間のイメージ】



※次期総合計画と次期総合戦略の開始年度が一致予定

## 【松山市総合計画審議会の審議結果】

＜松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合について＞

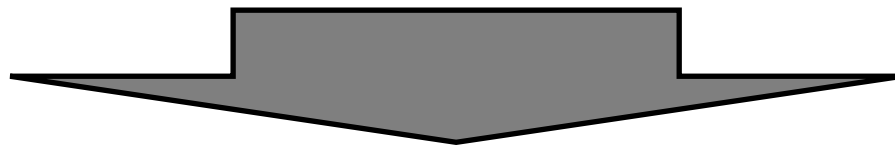
- ・総合計画と総合戦略を統合すれば、連携も図りやすく、市民にとっても分かりやすくなる。
- ・総合計画と総合戦略の計画年度を合わせられるタイミングで、統合を図るのが望ましい。
- ・統合に当たっては、評価の方法や見せ方の工夫、広域的視点に立った検討が必要。

## 【他の中核市や県内他市町の動き】

- ・総合戦略または総合計画どちらかの改訂に合わせ、もう一方の期間を延長するなど、両計画の期間を合わせる自治体が増加(中核市及び県内市町の約半数)
- ・総合戦略と総合計画を統合または一体的に策定する自治体も増加(中核市及び県内市町の約1/3)

## 【総合計画と総合戦略を統合するメリット】

- ・持続可能なまちづくりを考えるうえで、重要課題である人口減少問題の基本的計画となる総合戦略と、市政の最上位計画である総合計画を一体的に策定することで、地方創生のより一層の推進を図ることが可能となる。



- ・次期総合戦略は、次期総合計画と統合し、一体的に策定を行い、地方創生の取組を、より一層推進していく。

(統合の具体的な方法等は、R5年度から行う予定の次期総合計画策定の中で検討を行っていく)

- ・なお、当会議(人口減少対策推進会議)の位置づけ等、統合により生じる変更事項については、次期戦略策定までに整理予定。